

## 別紙

### 福山リサイクル発電株式会社福山リサイクル発電所温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山リサイクル発電株式会社 福山リサイクル発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町107番8

(3) 業種

ごみ処分業 8816

#### 2 計画の期間

本計画の期間は平成18年度を基準年度とし、平成26（2014）年度～平成30年（2018）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：売電量（千kWh）当りのCO<sub>2</sub>排出量（t）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成18年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成30年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比(e))					平成 年度
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.04528	0.04357 3.8	0.05041 -11.3	0.05106 -12.8	0.04719 -4.2	0.03331 26.4		
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.63213	0.62794 0.7	0.61584 2.6	0.62522 1.1	0.61271 3.1	0.61188 3.2		
メタン								
一酸化二窒素	0.04430	0.04307 2.8	0.04188 5.5	0.04252 4.0	0.04167 5.9	0.04000 10.0		
フロン類								
温室効果ガス 総排出量	0.72171	0.71458 1.0	0.70813 1.9	0.71878 0.4	0.70157 3.8	0.68518 5.1		
エネルギー消費 原単位（原油換 算k1）	0.05188	0.04836 6.8	0.05398 -4.0	0.05501 -6.0	0.04982 4.0	0.04183 19.4		
実績に対する 自己評価		ガス化溶融炉の主羽口送酸量や酸素濃度等の見直しを行い、溶融炉に補助燃料として供給している石炭コークス消費量について大幅な削減が可能になったため、すべての項目について削減ができた。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	補助燃料使用量削減	補助燃料である石炭コークスの使用量を昨年比で約17%削減した。	・石炭コークス燃焼に必要な、熔融炉主羽口に供給する空気の送酸量や酸素濃度の見直しを行い、石炭コークス使用量の削減を図った。
2	所内電力量の削減	所内電力の使用量を昨年比で3.4%削減した。	・熔融炉主羽口に送風する風量の削減により、通風機関係の動力削減が図れた。
3	電気使用量の削減	削減量の把握は出来ないが、運用については徹底した。	・空調機適正温度管理（冷房28℃）暖房（20℃）を表示し、管理を徹底した。 ・不要照明の消灯を徹底した。

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。